



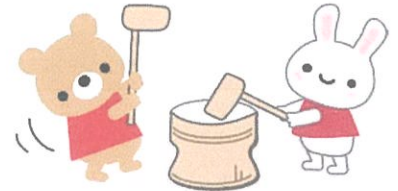
麻布幼稚園だより

令和6年12月号
港区立麻布幼稚園
園長 酒井 正美

麻布幼稚園開園90周年記念式典が、挙行されました。

当日は、浦田幹男教育長、清家愛区長、鈴木たかや港区議会議長をはじめ、多くの皆様にご参列をいただきました。

式典には、5歳児年長組が代表で出席し、式後のアトラクションでは、全園児によるお祝いのダンスをしました。



今年度は行事や活動の中で、開園90周年のお祝いの気持ちをもてるように工夫をしてきました。式典の雰囲気を感じ、「幼稚園90歳おめでとう！」と楽しくダンスでお祝いしたことは、子供たちの心のどこかに残っていくことでしょう。そして、幼稚園が大好きな気持ち、大事に思う気持ちをいつまでも、もち続けてほしいと思います。

式典後の和やかな「90周年を祝う会」も含め、保護者、地域の皆様、関係の皆様には、多大なるご支援をいただきました。ありがとうございました。これからも地域の幼稚園として、たくさんの親子に通ってもらえる幼稚園、子供たち心のふるさととなる幼稚園として、歩みを進めてまいります。

早いもので12月、2学期を締めくくり、年末へと向かう月となりました。寒さが増していく季節ですが、引き続き戸外で楽しく体を動かして遊びたいと思います。

先日、5歳児年長組は、東京タワー横の芝公園へ徒歩遠足に行ってきました。今年度は、『健康な心と体を育む』を重点の一つとして教育活動を進めています。徒歩遠足はその取組の一つです。5歳児は、昨年度から、「狸穴公園」「プラネタリウムの教育センター」へ歩いていくことを積み重ねてきました。芝公園へは30分程で到着。歩道では端に寄って歩いたり、信号を素早く渡ったりと歩き方がとても上手になりました。経験の積み重ねの大切さを感じます。芝公園では、急な斜面の登り降りを自分の足元にしっかりと注意をしながら挑戦していました。日頃からリレーや鬼ごっこを繰り返し楽しむ中で育まれた体力もあり、たっぷり遊んだ後も、しっかり歩いて幼稚園まで帰ることができました。勝ったり負けたりしながら友達と楽しく体を動かして遊ぶこと、一步一步自分の足で歩き、やり遂げることは、健康な体だけでなく、粘り強さや課題に向かう姿勢など、心の育ちにもつながります。5歳児年長組の子供たちの顔つきに、たくましさを感じるようになってきました。

今月は、「もちつき会」や「お楽しみ会」そして「大掃除」など、楽しいことや年末ならではの経験をしていきます。年末の「もちつき」は、家族や親族、ご近所の方と、町会で、など伝統的に行われてきた行事ですが、現代の生活の中ではなかなか経験できないものとなりました。

蒸籠(せいろ)を火にかけて蒸したもち米を、臼と杵でついてできる餅。蒸籠で蒸すための火、蒸した米の香り、米の粒が餅に変わっていく様子、大人や子供が集って大勢でもちつきをする楽しさや、協力して餅が出来上がっていくを感じるなど、「もちつき」には、子供たちに体験をさせたいことがたくさんあります。「蒸籠(せいろ)」「かまど」「米を蒸す」「臼」「杵」「こねる」「つく」などの道具の名称や言葉を含め、楽しい体験を通して、日本の伝統的な行事や文化に親しむ機会にしていきたいと思います。